



2022年6月27日

各 位

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 宮下 仁
 (東証グロース・コード 8938)
 問合せ先 経営企画管理室 室長 涌井 弘行
 (TEL 03-5545-8101)

特別損失の計上に伴う業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年6月24日に受領した特別調査委員会からの調査報告書（その内容は同日開示した「特別調査委員会の調査報告書受領のお知らせ」をご参照ください。）の内容を踏まえ、2022年3月期に係る第1四半期から第3四半期の四半期決算短信を訂正するとともに、本件に係る調査費用及びアライアンス先への返金見積額に関して引当金を計上することといたしました。これらの訂正・計上に伴い、2022年2月18日に公表した2022年3月期の業績予想と実績との差異をお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想数値と実績数値の差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 連結当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	2,378	284	292	418	46.23
実績値 (B)	2,470	340	346	208	23.09
増減額 (B-A)	91	56	54	△209	—
増減率(%)	3.9%	19.7	18.5	△50.1	—
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	3,904	376	46	△255	△38.82

2. 差異発生 の理由

2022年5月12日に開示いたしました「特別調査委員会の設置及び2022年3月期決算発表の延

期に関するお知らせ」に基づく特別調査委員会からの調査報告書の内容を踏まえ、次の項目を特別損失として2022年3月期の決算に計上することとしたため、業績予想と実績値との差異が発生しました。

- ① 特別調査費用として116百万円を計上いたします。
- ② 当社子会社であるグローム・マネジメント株式会社が今後、アライアンス先1社に対して返還する可能性のある金額を最大で90百万円（受取消費税を含む）と想定し、同額を債務返還引当金繰入額として計上いたします。

3. 今後の見通し

2022年3月期決算短信は、本日開示した通りです。

また、2022年6月中に公表予定であった「事業計画及び成長可能性に関する事項」については、2022年7月中に開示いたします。

以上